

平成21年度
紙パルプ業界のEDI実態調査報告

平成22年4月

株式会社カミネット

はじめに

IT活用の上で、企業間取引での電子データ交換（EDI）の導入は、企業基盤の強化、経営戦略を構築する上で、欠かすことのできないものになっています。現在ではインターネットの急速な普及によって通信インフラの整備が進んだことにより、各企業がEDIを活用することによって、取引の迅速化と経営の効率化を実現することがますます可能となっています。

このような環境の下、次世代EDI推進協議会（JEDIC）では、国内におけるEDIの普及を推進するため、EDIの実態を時系列的に把握し、EDIを推進する企業へ情報提供するとともに、その拡大策を検討するための材料提供を目的として、平成8年度（1996年度）よりEDI実態調査を実施し今回で14回目になります。

株式会社カミネットは、JEDICの会員である日本製紙連合会及び日本紙商団体連合会の要請を受け、JEDICの研究活動である各部会に参加していますが、18年度より業界4団体の積極的な協力を得て、EDI実態調査に参加することになりました。

今回のEDI実態調査は、518社発送のうち回収111社、回収率約21%と前回よりやや高くなっております。ただし団体毎の回答傾向には大きな変化はありません。

設問の中で、EDIの導入効果については「非常に役立っている」「ある程度役立っている」と回答した企業は、日本製紙連合会では全社10割、洋紙・板紙代理店会で9割あり、製紙メーカー、代理店では、EDIが効果のある業務インフラと定着しているものと思われまます。しかし日本洋紙板紙卸商業組合では約4割にとどまっており、中小規模会社のEDI導入は、当業界としても速やかに取り組んでいくべき課題となっております。

この「紙パルプ業界のEDI実態調査報告」は、JEDICによる日本の各産業全体をまとめた報告書と別に、業界4団体の委託を受けたカミネットが紙パルプ業界のみを分析し、報告書にまとめたものです。この報告書が当業界でのEDI利用度、効果・課題を整理する上で、参考になり同時にEDIの普及に役立てることができれば幸いです。

平成22年4月
株式会社カミネット

EDI実態調査の協力団体

- 日本製紙連合会
- 日本洋紙代理店会連合会
- 日本板紙代理店会連合会
- 日本洋紙板紙卸商業組合

アンケート調査結果のまとめ

○アンケートの回収率

	発送数	回収数	回収率
製紙連合会	12	10	83%
代理店会	32	10	31%
日紙商	474	91	19%
合計	518	111	21%

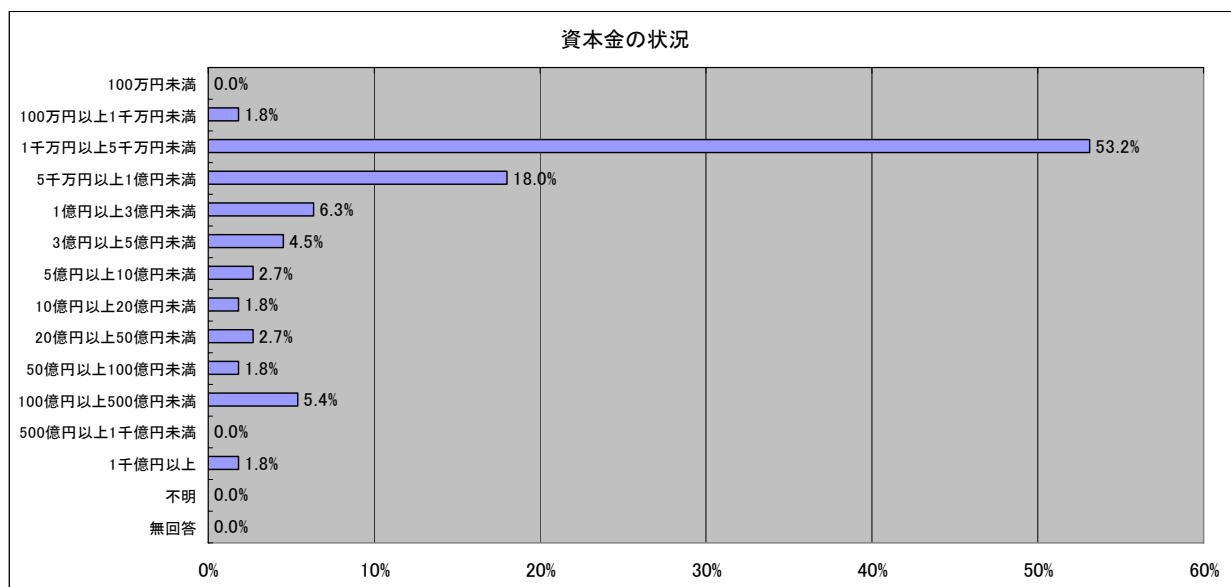
回収率は前回の約 20% と比べ今回は約 21% に上がった。

今回のアンケートから、EDI の実施状況と今後の検討課題について貴重な情報を頂いた。

○調査票 1

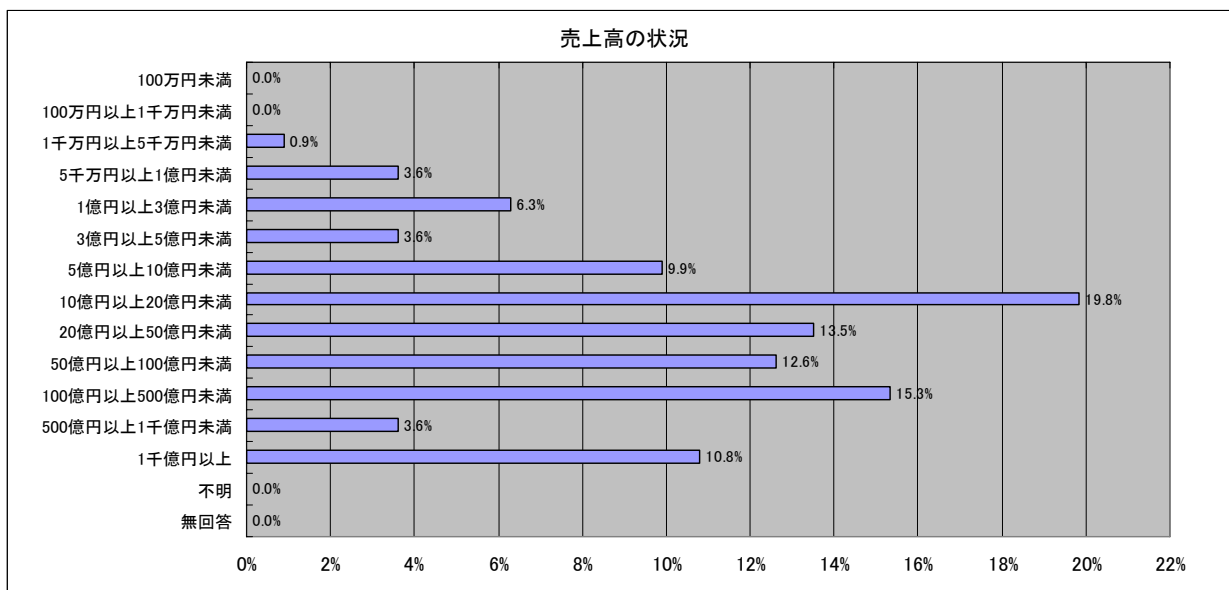
1. 回答企業のプロフィール

【問 1】 貴社の H21 年 3 月末時点の資本金はどれくらいですか。



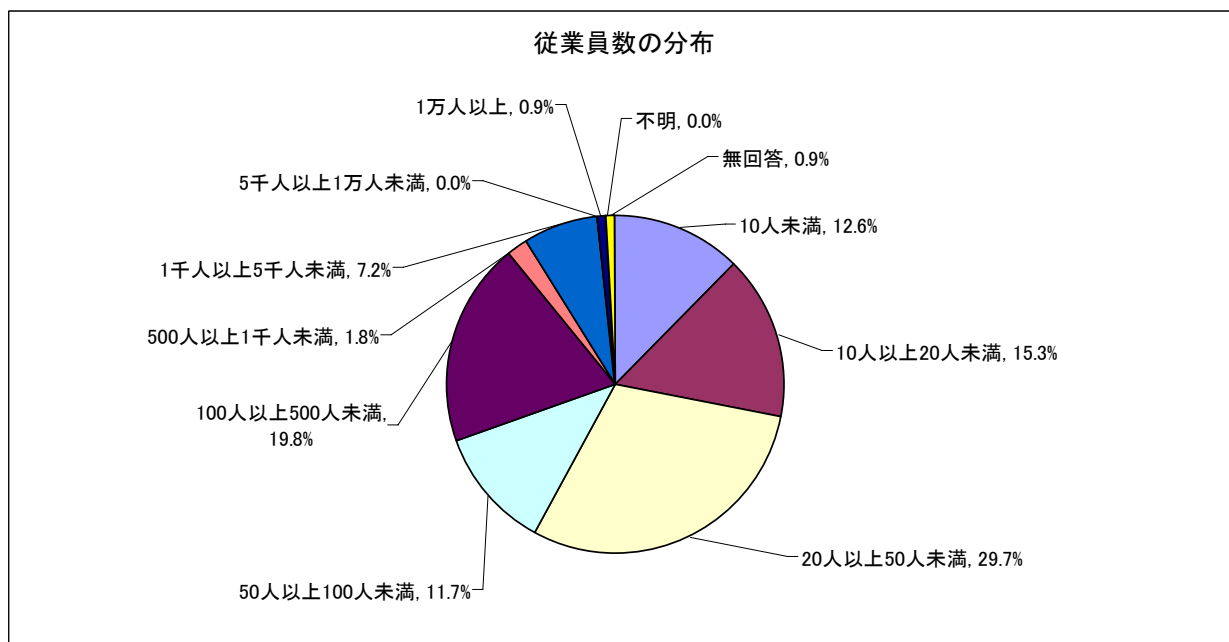
- ・ 1千万円以上5千万円未満がもっとも多く（5割）、全体では1億円未満が7割を占める。
- ・ 製紙連合会加盟のメーカーは100億円以上が最も多い（7社）。日紙商加盟の卸商では1千万円以上5千万円未満が最も多い（5割）。

【問 2】 貴社（ご回答部門）の H20 年度の売上高はどれくらいですか。



- ・売上高については、1千億円以上は、製紙連で7割、代理店は5割となっている。
- ・日紙商は、20億円未満が約5割、20億円以上100億円未満3割弱、100億円以上は1割強である。

【問 3】 貴社（ご回答部門）の H21 年 3 月末時点の従業員は何人ですか。

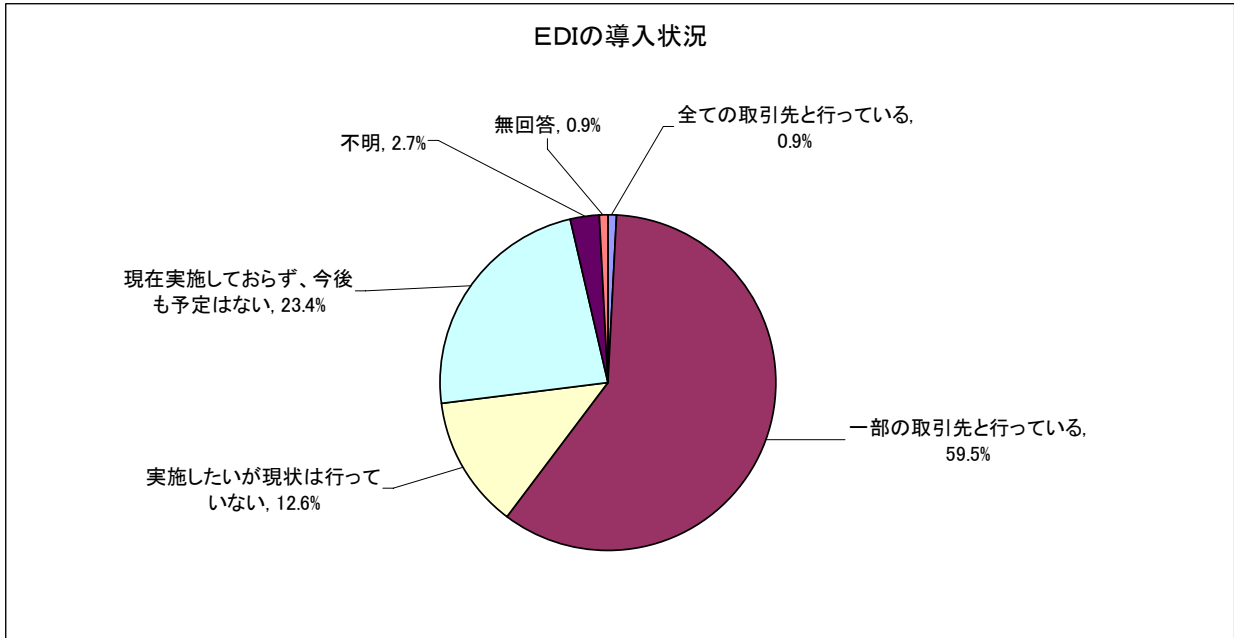


- ・製紙連は1千人以上5千人未満が最も多く7割、代理店では100人以上500人未満が7割、日紙商は全体の約7割が50人未満である。

【問4】【問5】割愛

2. 国内企業との取引における EDI の導入状況について

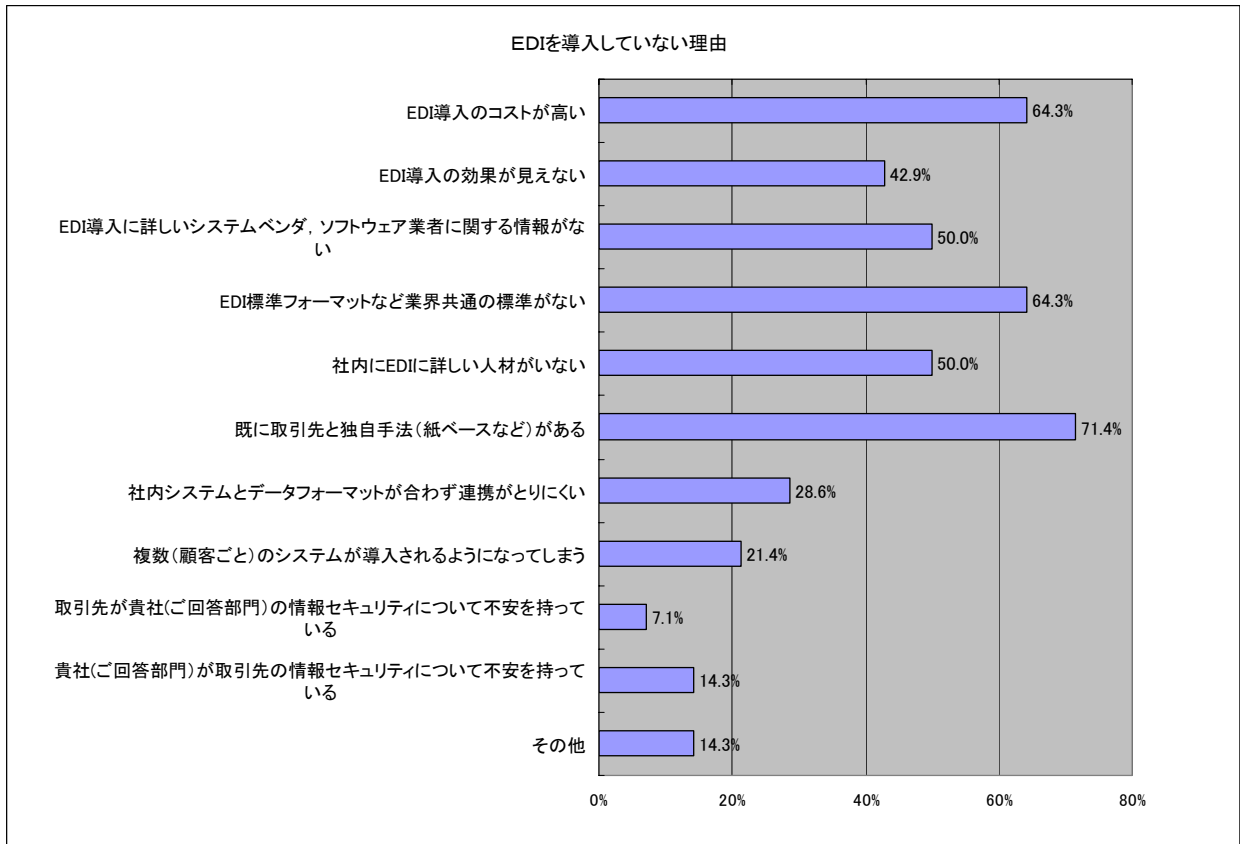
【問6】 貴社（ご回答部門）では国内企業との取引で、EDI を導入していますか。



・「一部の取引先と行っている」が最も多く全体で約6割、「実施していない」「予定はない」が4割弱ある。

【問 7】 問 6 で「実施したいが現状は行っていない。」とお答えの方に伺います。

EDI を導入していない理由は何ですか。3 つまでお答えください。



製紙連合会、代理店会では回答がなかったが、日紙商の14社が「実施したいが現状は行っていない。」と回答した。

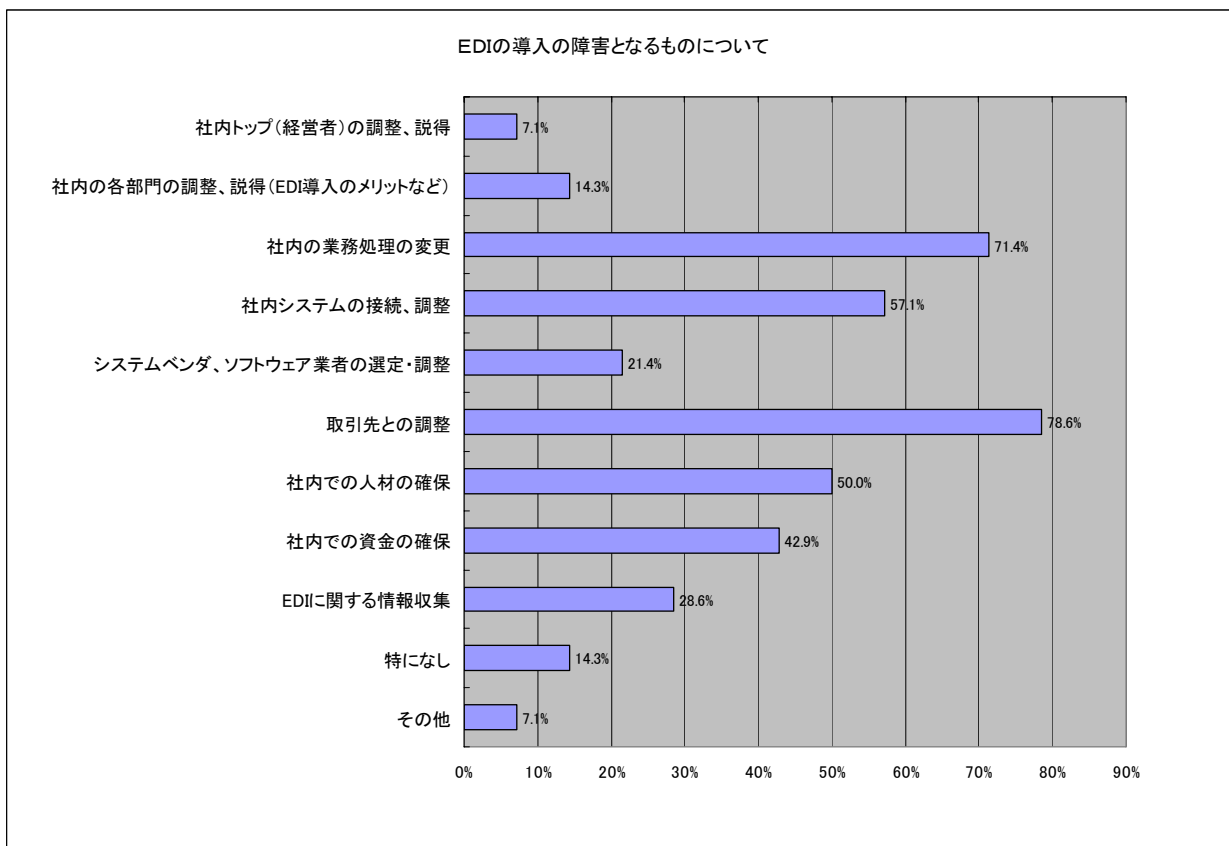
実施できない理由として主に

1. EDI導入のコストが高い。
2. EDI導入の効果が見えない。
3. 社内にEDIに詳しい人材がない。
4. 既取引先と独自手法（紙ベースなど）がある。

が上げられている。

【問8】 問6で「実施したいが現状では行っていない」とお答えの方に伺います。

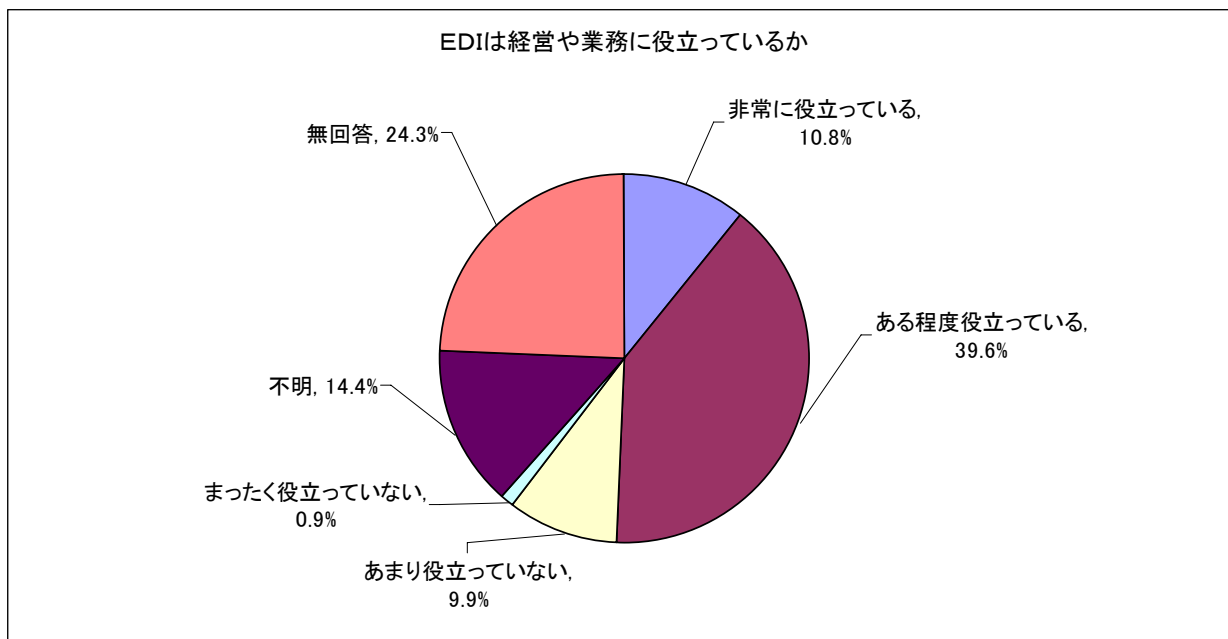
EDIをこれから始める際に障害となると思われる点について、3つまでお答え下さい。



・日紙商14社が回答しているが、実施するにあたり障害となると思われるものとしては「社内業務処理の変更」「取引先との調整」が最も多く、次いで「社内システムの接続、調整」「社内での人材の確保」が上げられている。

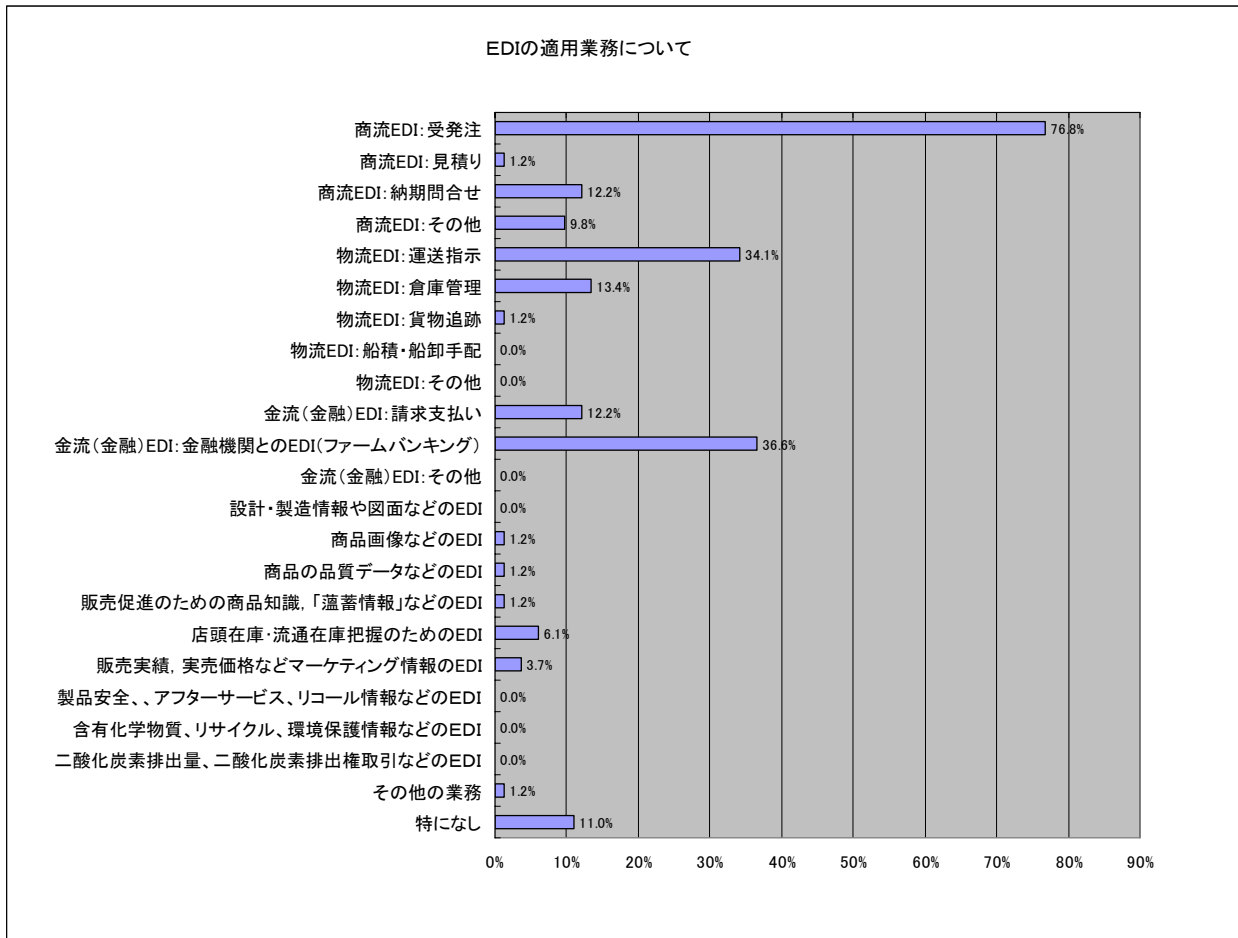
3. EDI の適用業務について

【問9】 EDI の導入は IT 経営や業務改革、売り上げの拡大等に役立っていますか。



・「非常に役立っている」「ある程度役立っている」は製紙連では全社、代理店で9割あったが、日紙商では4割程度に低下し、「あまり・まったく役立っていない」も1割あった。

【問10】現在どのような業務にEDIを導入していますか。主なものを3つまでお答えください。



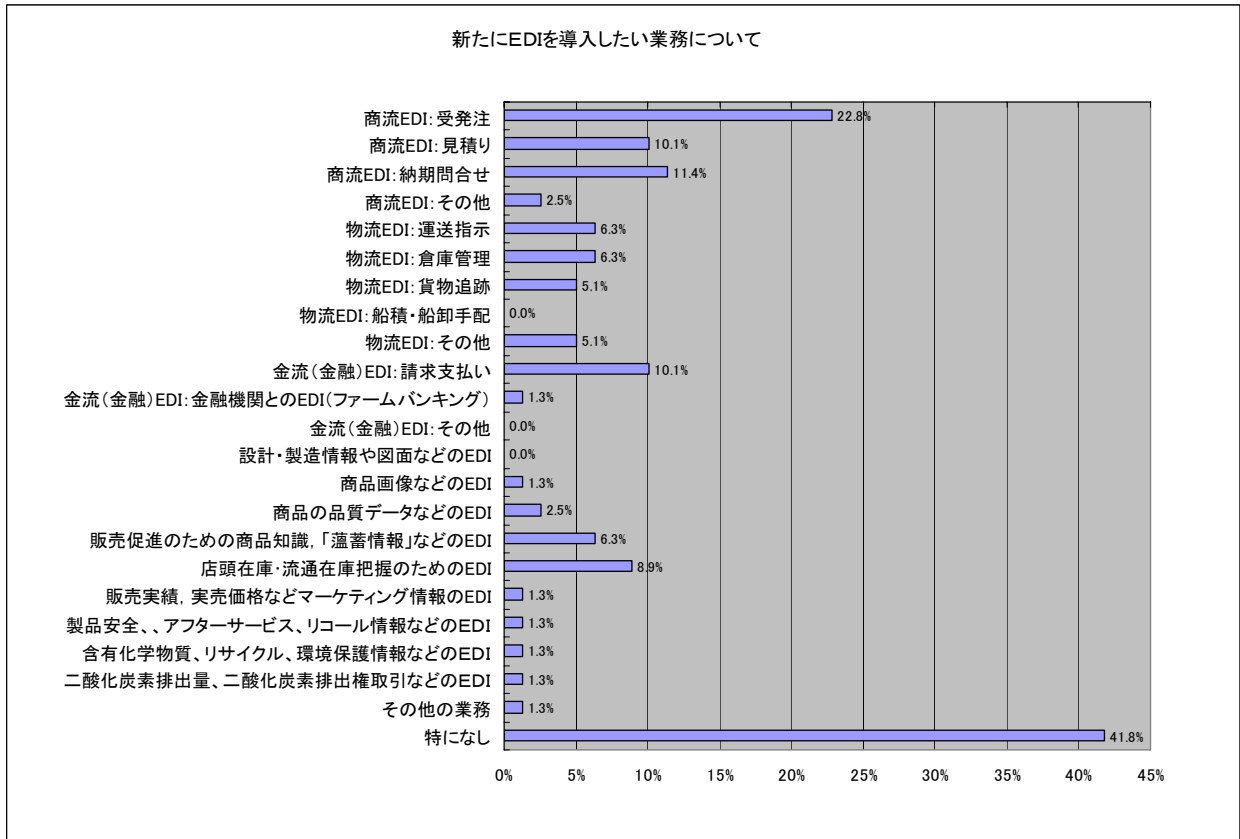
EDIを利用している主な業務

1. 受発注 約8割
2. 金融機関とのEDI (ファームバンキング) 約4割
3. 運送指示 約3割

分野別回答状況

商流EDI	100.0%
物流EDI	48.8%
金流(金融)EDI	48.8%

【問 1 1】 今後新たに EDI 導入を考えたい（考えている）業務がありますか。主なものを 3 つまでお答えください。



EDI導入を考えたい業務

①受発注 ②見積り ③納期間合せ ④請求支払い

* 製紙連では環境関連などに関して解答があった。

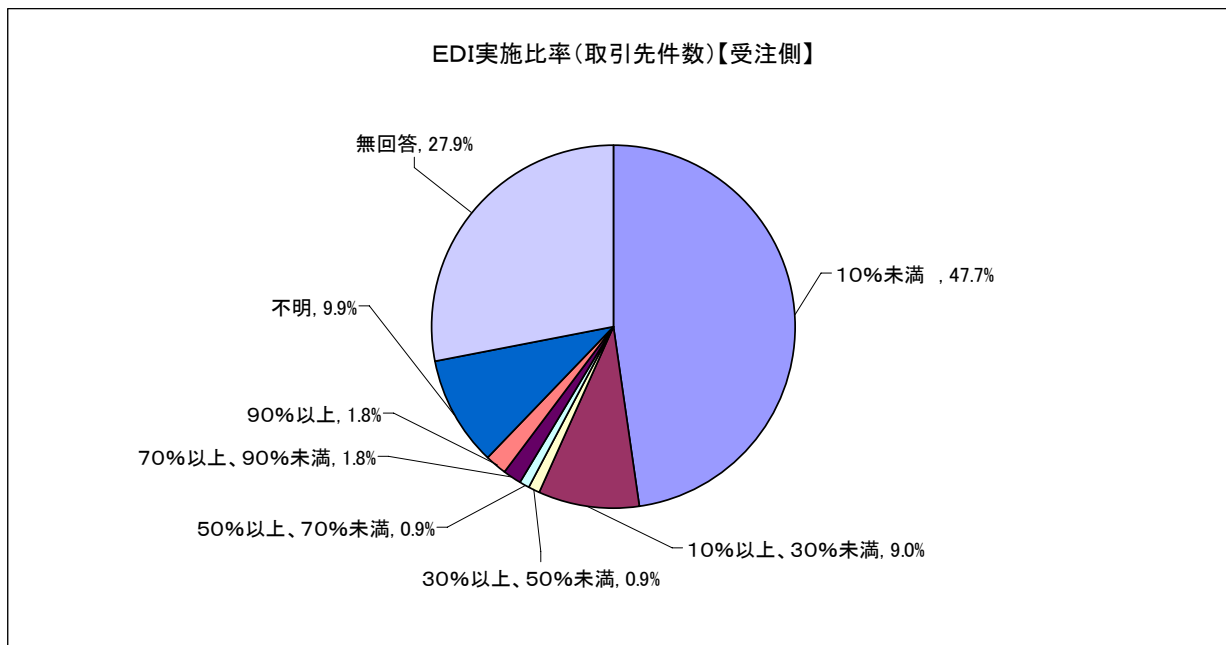
分野別回答状況

商流EDI 46.8%

物流EDI 22.8%

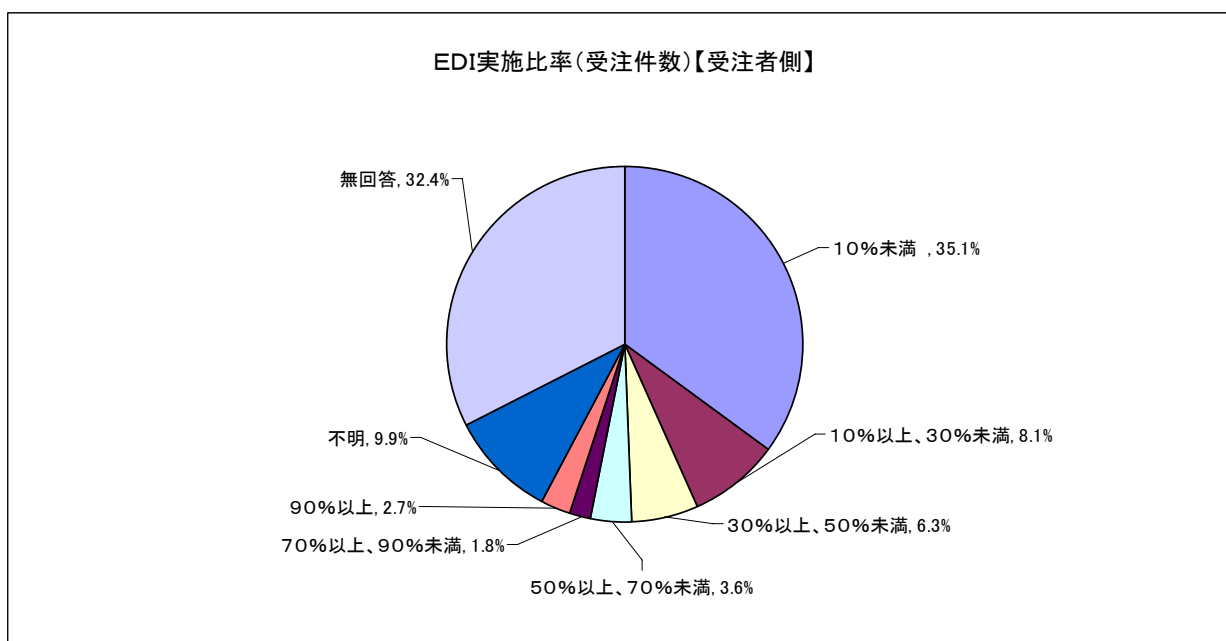
金流(金融)EDI 11.4%

【問 1 2】貴社（ご回答部門）が受注者の立場で EDI を実施している場合、取引先社数の何%と EDI 取引を実施していますか。



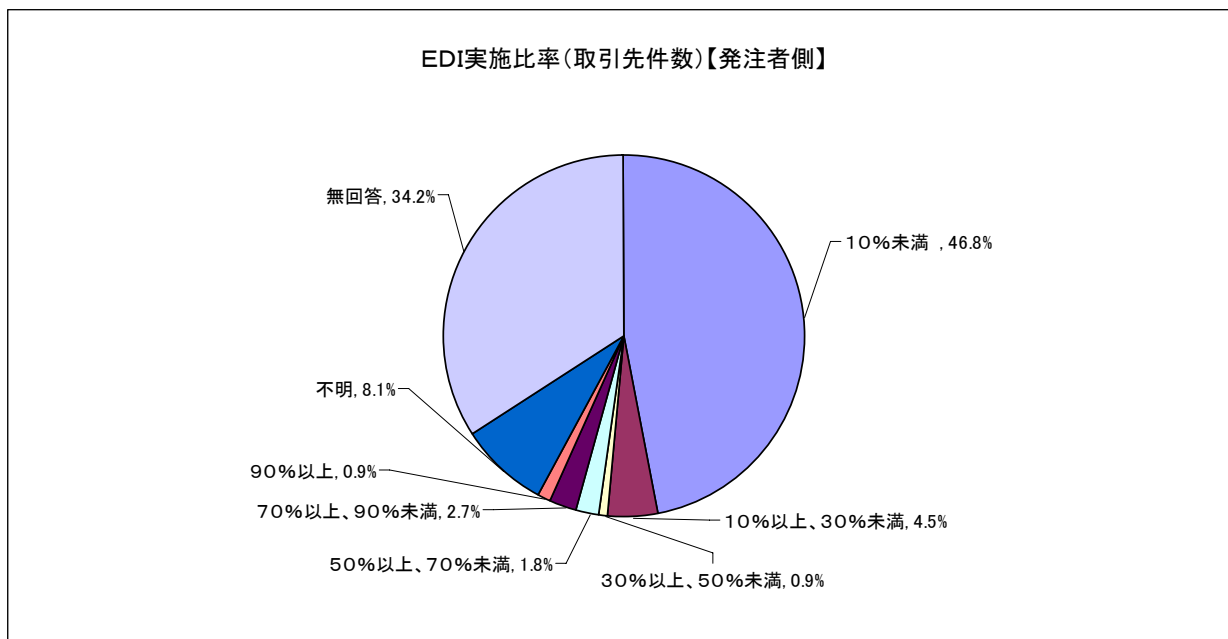
- ・取引先件数に占める受注者側での利用率は、製紙連では70%以上が4割である。
- ・代理店では10%未満が全体を占め、日紙商も10%未満が5割で、流通の受注者側での利用率は低い。

【問 1 3】貴社（回答部門）が受注者の立場で EDI を実施している場合、受注件数の何%が EDI で取引されていますか。（1つだけ）



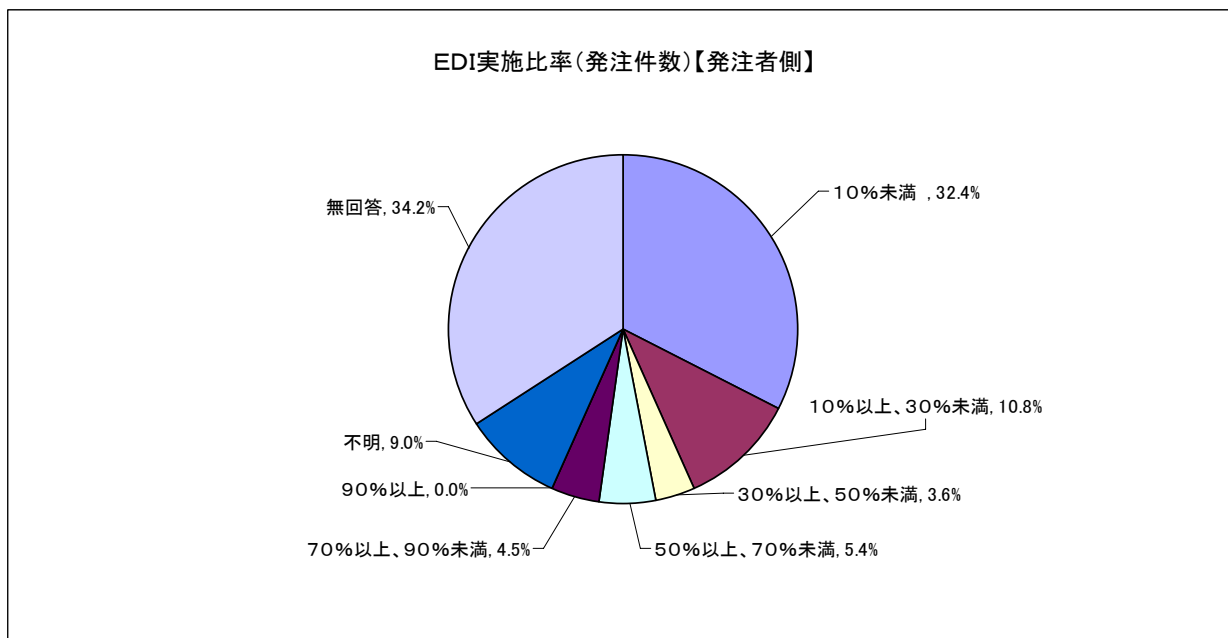
- ・受注件数についても問 1 2 と同様な傾向であり、メーカーでは利用率が高いが流通は低い。

【問 1 4】貴社（ご回答部門）が発注者の立場で EDI を実施している場合、取引先社数の何%と EDI 取引を実施していますか。



- ・全体では10%未満が5割近くを占める。
- ・メーカーでは10%未満は3割であるが、代理店、日紙商では各々7割、5割あった。

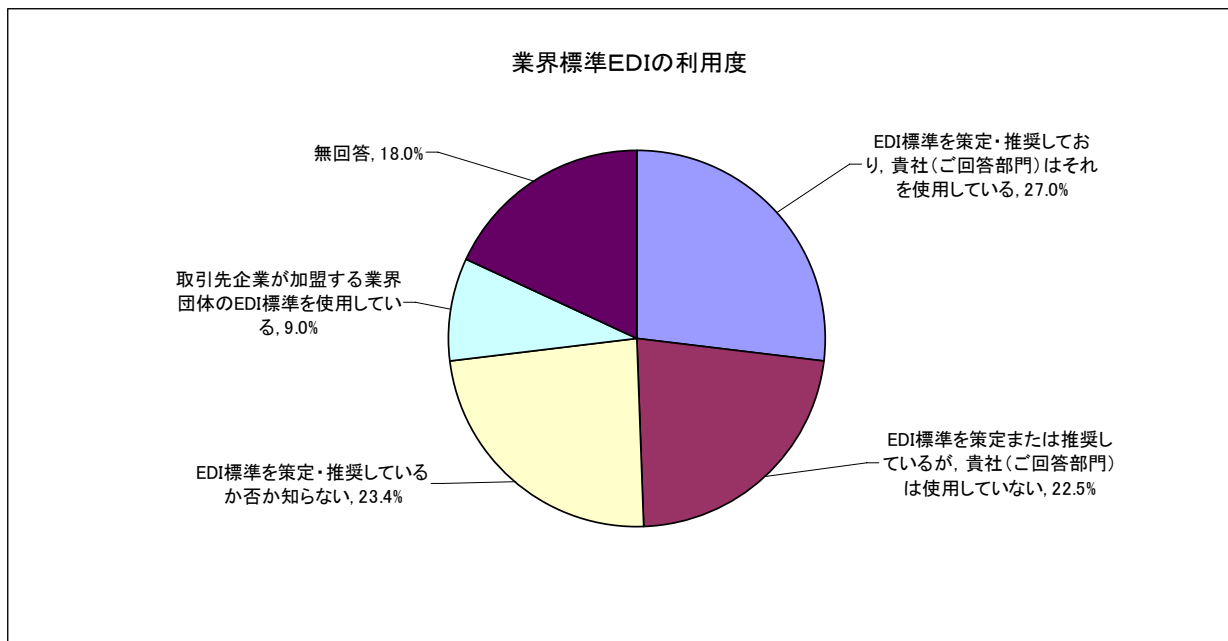
【問 1 5】貴社（ご回答部門）が発注者の立場で EDI を実施している場合、発注件数の何%が EDI で取引されていますか。



- ・問 1 4 と同様の傾向であり、全体で 10%未満が 3 割、30%未満が 1 割となっている。

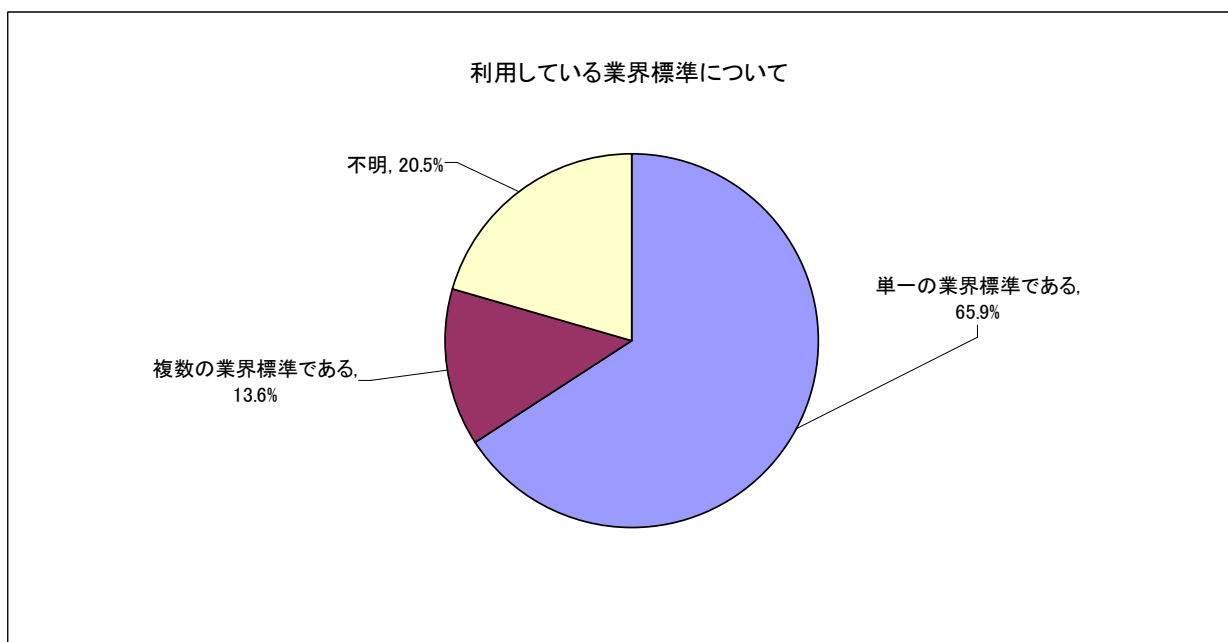
3. 業界の標準 EDI について

【問 1 6】 貴社（ご回答部門）が所属する業界の EDI 標準についてお答えください。（1つだけ）



- ・業界のEDI標準の利用状況については、全体で、「使用している」が3割、「使用していない」2割となっている。
- ・EDI標準について「策定・推奨しているか否か知らない」も2割あった。

【問 1 7】 問 16 で「EDI 標準を策定・推奨しており、貴社（ご回答部門）はそれを使用している」とお答えの方に伺います。ご使用の業界標準は単一の標準ですか、それとも複数の業界の標準を併用していますか。



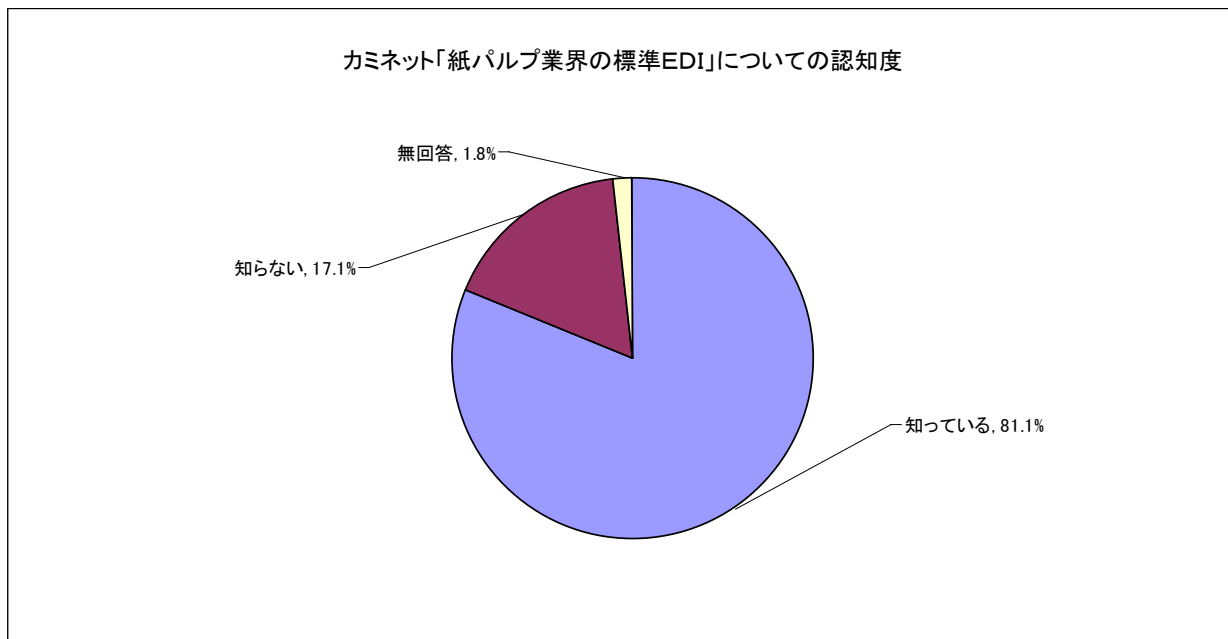
- ・業界標準は「単一」と回答した会社が7割。一部他業界の標準 EDI も利用されている。

○調査票5（紙パルプ独自アンケート）

1. 紙パルプ業界の標準 EDI（カミネット）について 【問1】加盟団体は割愛

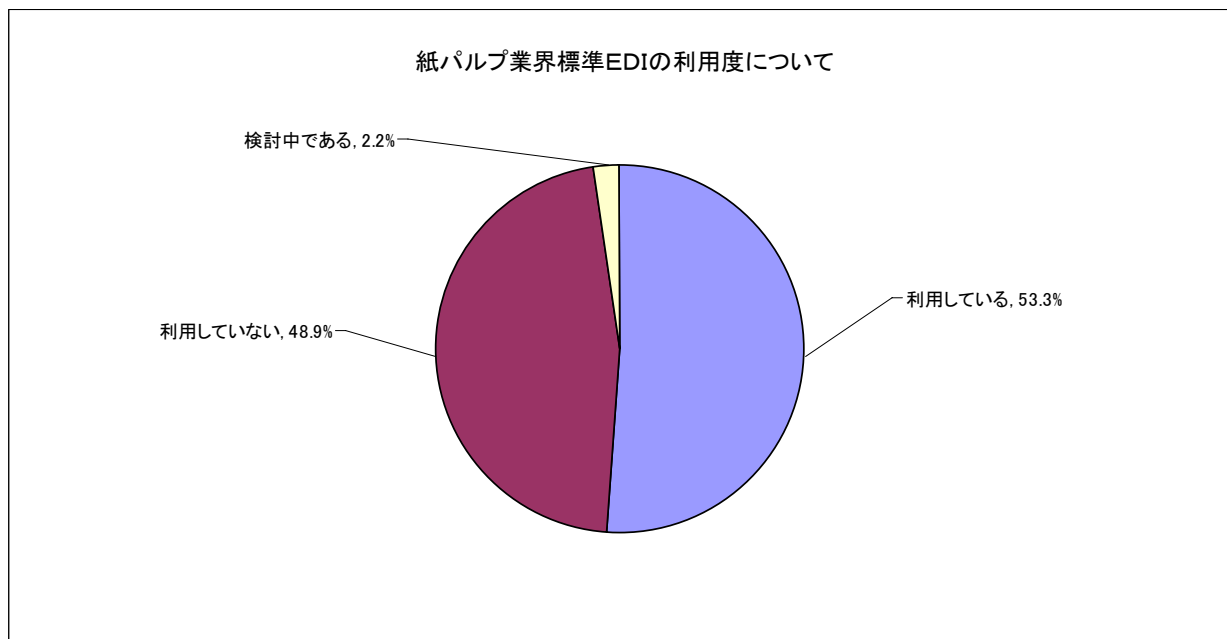
【問2】 「紙パルプ業界の標準 EDI」はカミネットが下記の管理・運営を行っています。

- ①紙パルプ業界の統一標準コード（品名コード，取引先コード）の運用管理
 - ②業界 EDI の標準化と推進，企業間データ交換システム（P-EDI，紙パ流通 VAN）の運用
- そこで質問ですが，カミネットが管理・運営する「紙パルプ業界の標準 EDI」をご存知でしたか。



・カミネットが運営する「紙パルプの標準EDI」については、全体では約8割が「知っている」と回答した。ただし日紙商では「知らない」と答えた会社も約2割あった。

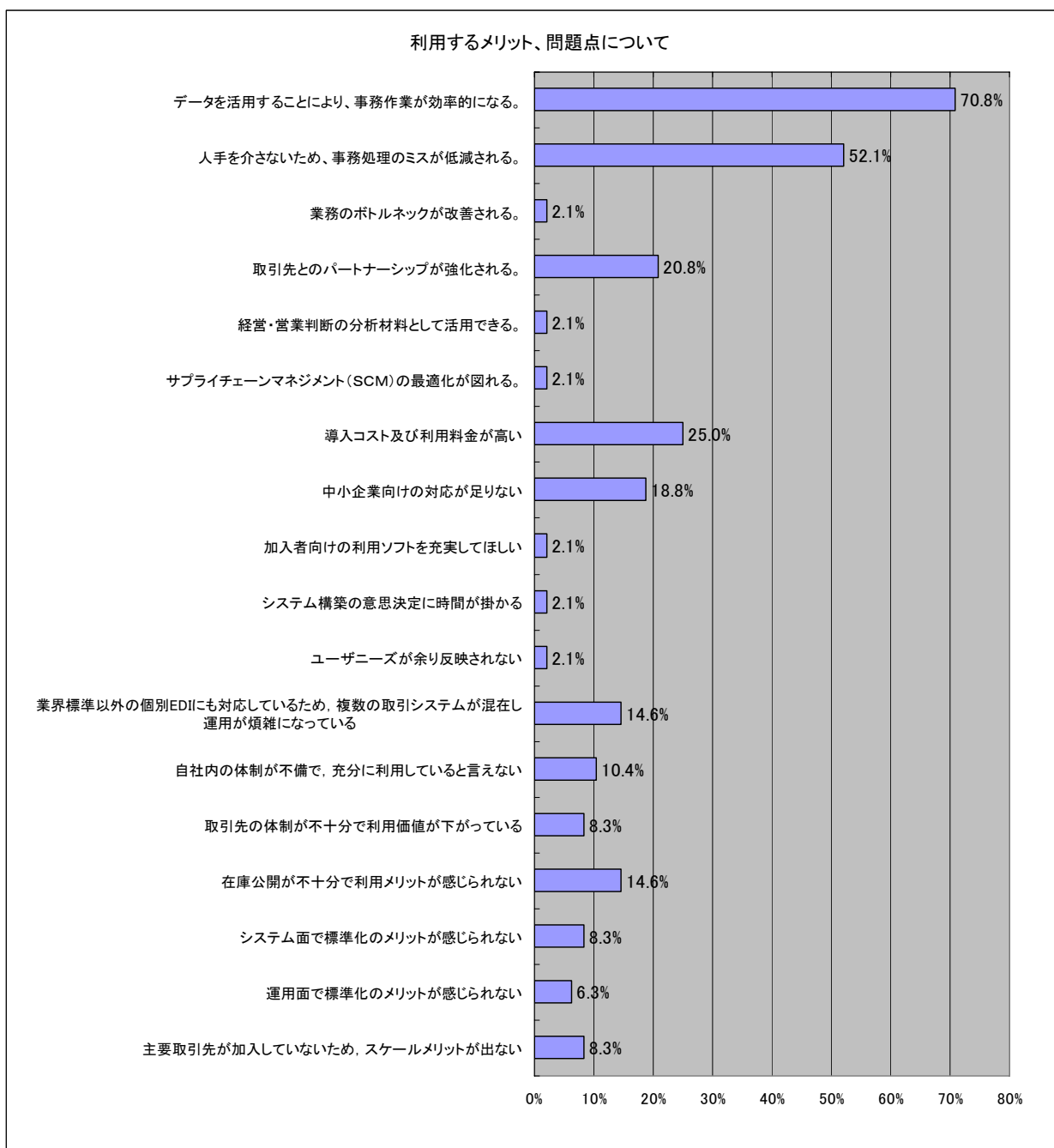
【問3】 問2で「知っている」とご回答した方にお尋ねします。紙パルプ業界の標準EDIを利用していますか。



- 全体では「利用している」5割、「利用していない」5割と半々の回答となった。
- 業態別では代理店は全社利用しており、次いで製紙連（6割）、日紙商（5割）となっている。

【問4】問3で「利用している」とご回答の方にお尋ねします。

現在利用してお感じになっているメリット、問題点などを5つまでお答えください。



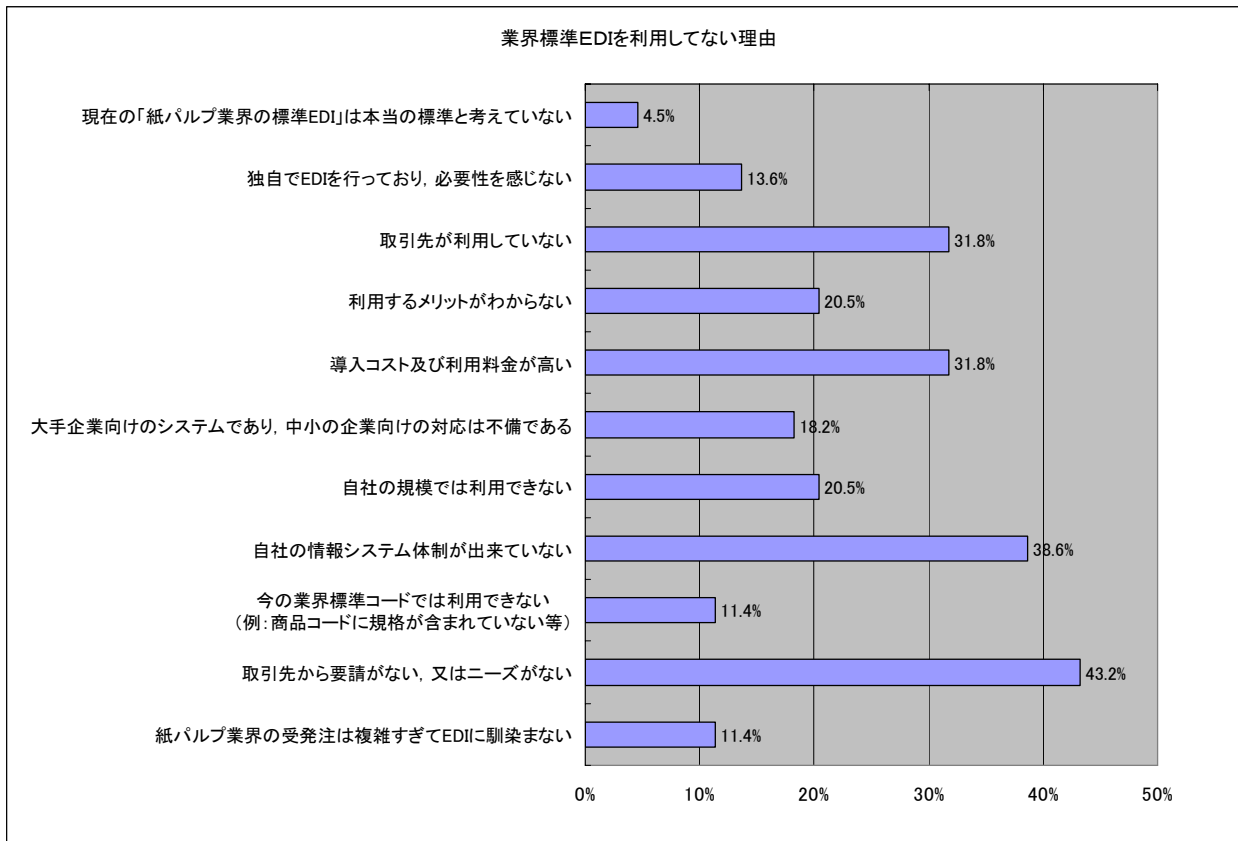
メリット面の上位

1. 事務作業の効率化。
2. 事務処理のミス低減。
3. 取引先とのパートナーシップの強化。

問題点の上位

1. 導入コスト及び利用料金が低い。
2. 中小企業向けの対応が足りない。
3. 運用が煩雑になっている。
4. 在庫公開が不十分。

【問5】問3で「利用していない」とご回答の方にお尋ねします。
その理由をお聞かせ下さい。 3つまでお答えください。

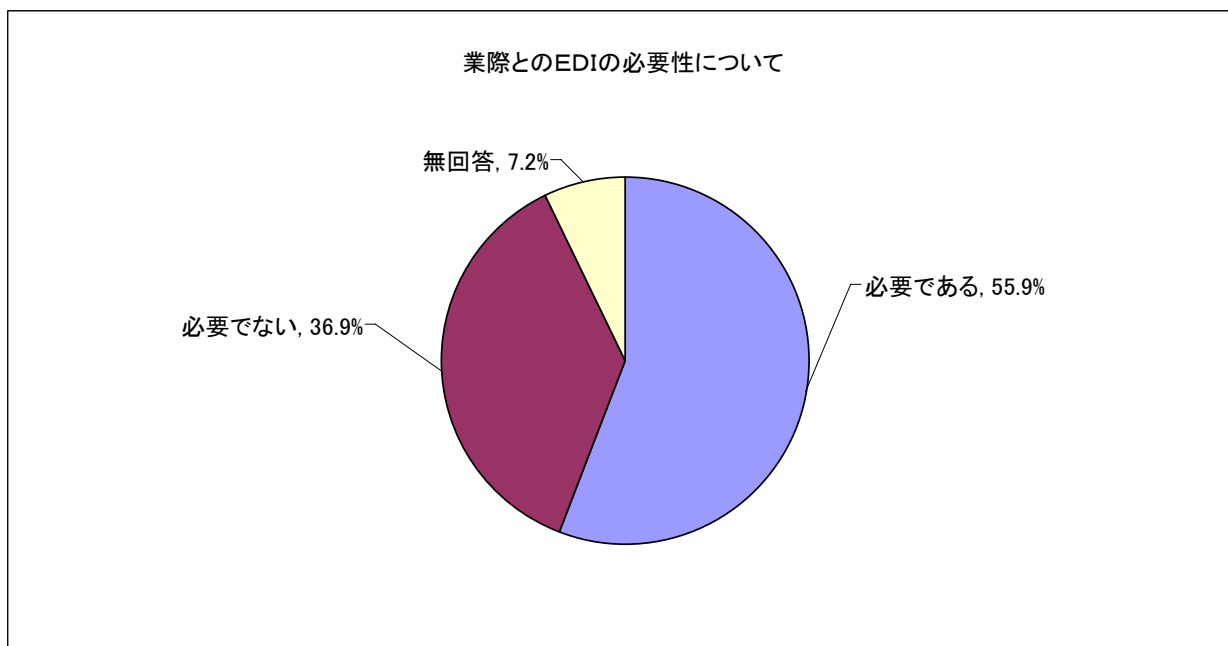


EDIを利用していない理由の上位

1. 取引先から要請がない。ニーズがない。
2. 自社の情報システム体制が出来ていない。
3. 取引先が利用していない。
4. 導入コスト及び利用料金が低い。
5. 利用するメリットがわからない。

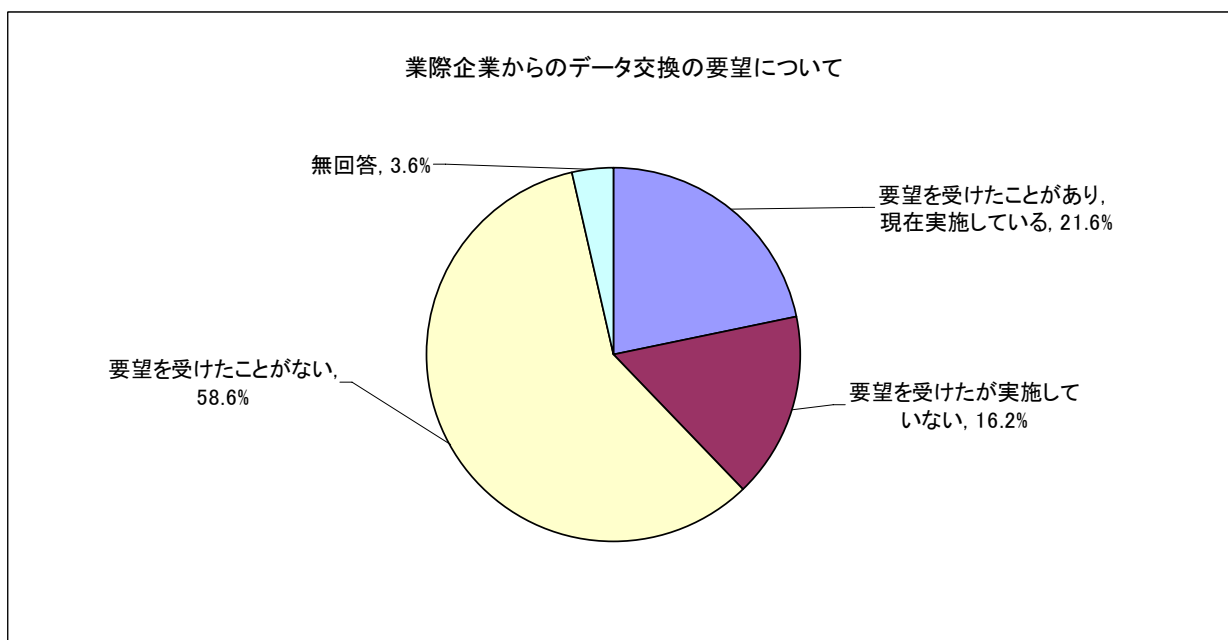
2. 業際企業との EDI について

【問 6】 業界外（業際）企業との EDI についてお尋ねします。（例：印刷会社、出版社、加工会社、等）。現在、業界外（業際）企業との EDI は必要と考えておりますか。



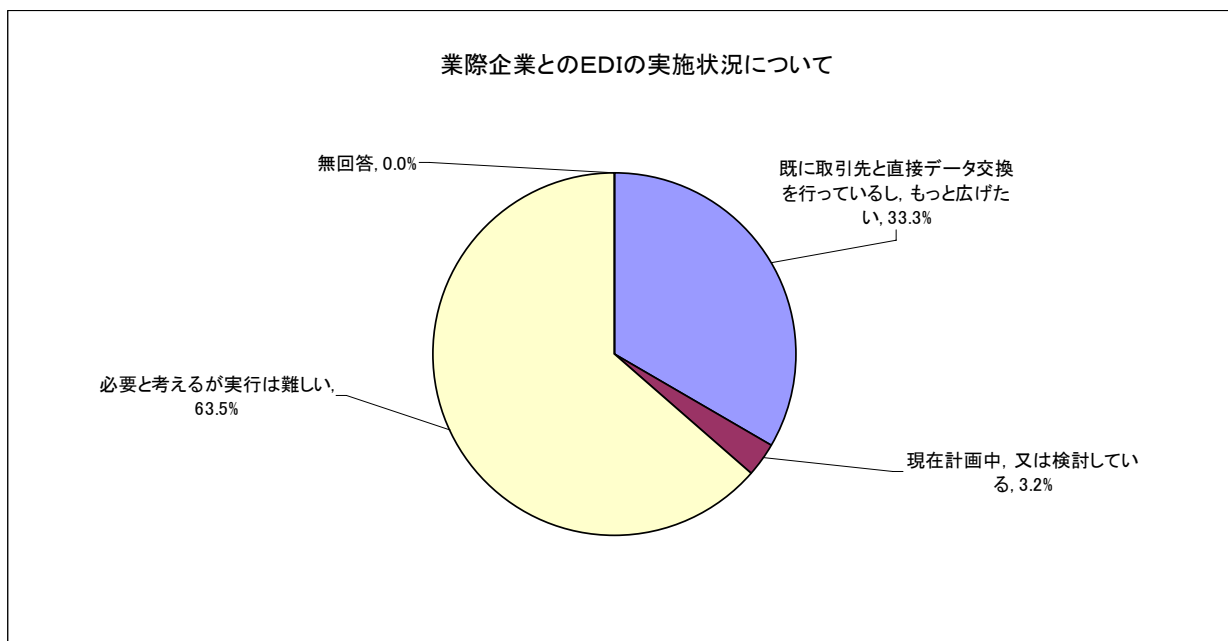
・業際企業との EDI の必要性については、「必要である」が 6 割あるが、「必要でない」も 4 割ある。

【問 7】 業界外（業際）企業から受発注等のデータ交換の要望を受けたことがありますか。



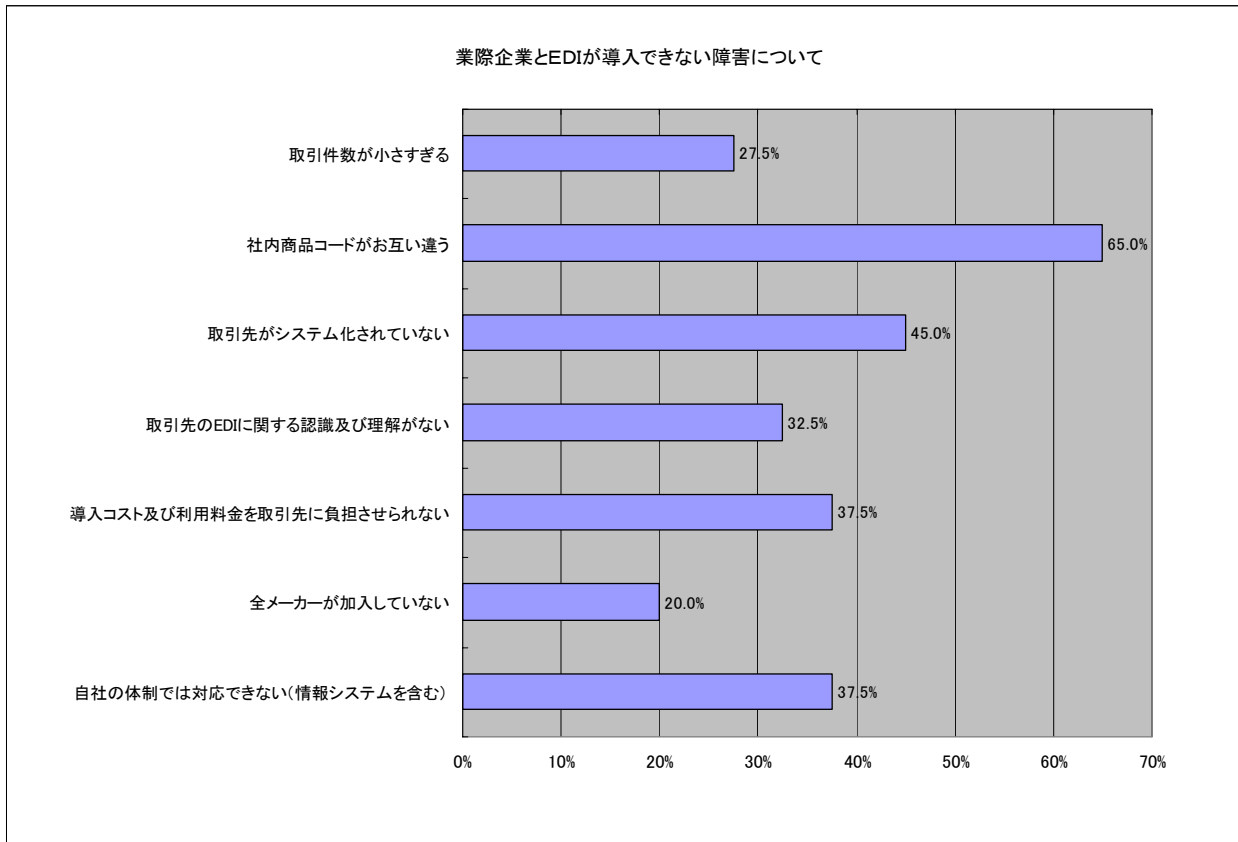
・業際からのデータ交換については、全体では6割が要望を受けたことがない。
・代理店は7割が実施している。日紙商では、要望を受けたことがない割合が高く（6割）、実施している割合も低い（2割）。

【問 8】 問 6 で「必要である」とお答えの方にお尋ねします。
業界外（業際）企業との EDI 導入の状況をお答え下さい。



- ・業際企業とのEDIについては、全体では6割が「実行は難しい」と考えている。
- ・代理店の実施率は高いが（7割）、製紙連、日紙商では必要性はあるものの実行は難しいと考えているところが多い。

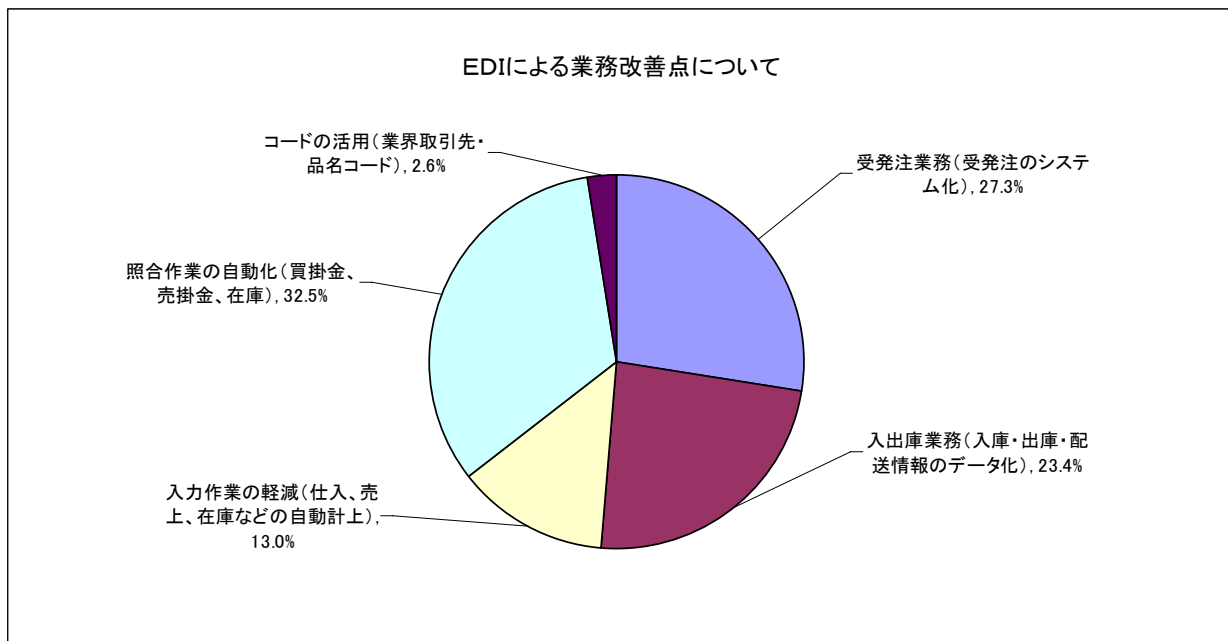
【問 9】 問 8 で「必要と考えるが実行は難しい」とお答えの方にお尋ねします。
 業界外（業際）の取引先との EDI が導入できない障害は何だと思えますか。
 3 つまでお答えください。



・業際の取引先とEDIが導入ができない理由は様々であるが、「社内商品コードの違い」、「取引先がシステム化されていない」が比較的多い。

3. EDI 導入による業務改善点について

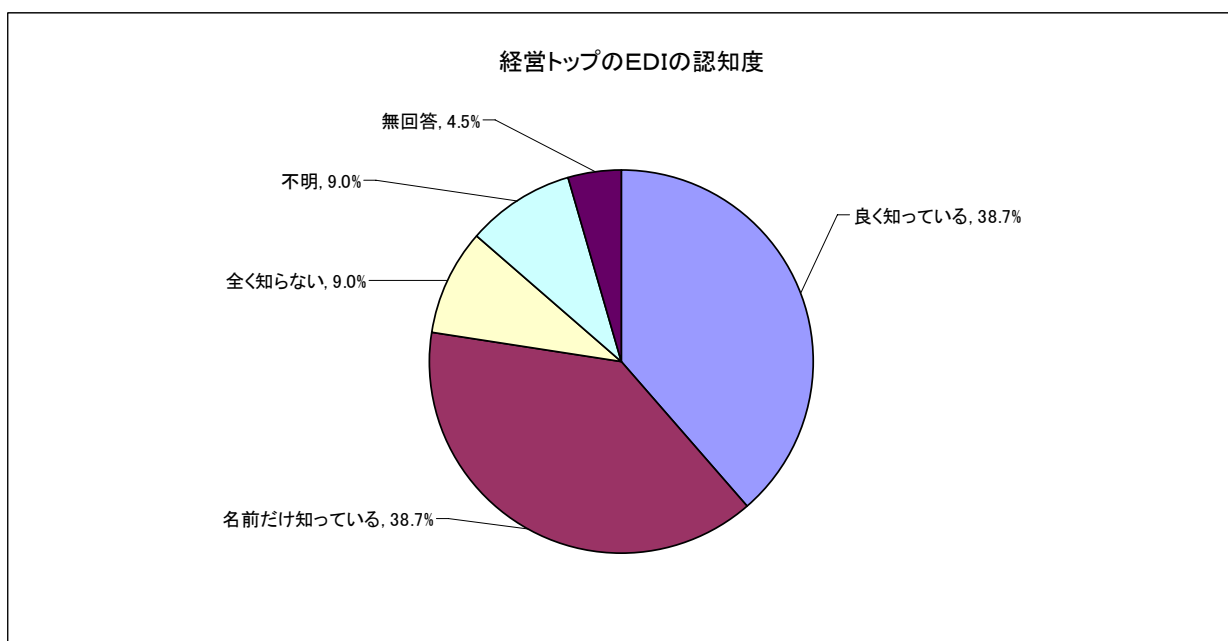
【問 10】 EDI を導入して、業務を改善したい点がありますか。（1つだけ）



・ EDI で改善したい業務については、全体では「照合作業の自動化」、「受発注業務」、「入出庫業務」の順に多い。

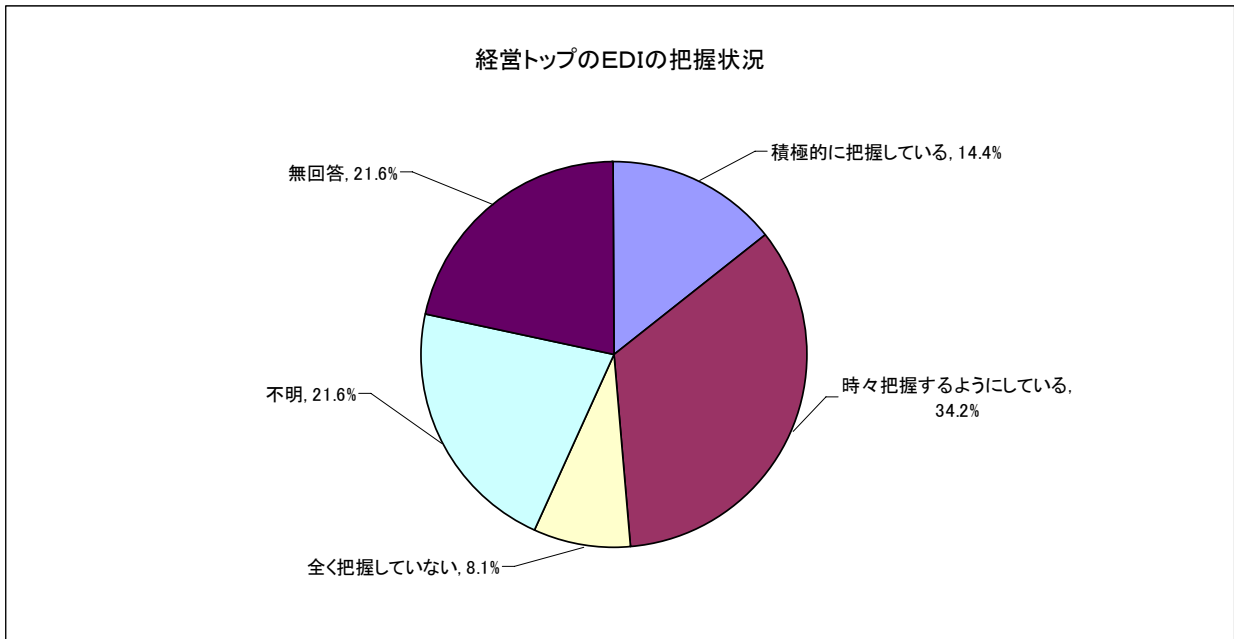
4. 経営トップの認知度などについて

【問 11】 御社の経営トップは、EDI についてご存知でしょうか。（1つだけ）



・ 経営トップのEDIに対する認知度について、全体では「良く知っている」が4割であった。
 ・ 「良く知っている」は製紙連、代理店では高いものの、日紙商では低かった。

【問 12】 導入後について、経営トップはその運用状況や効果を把握されていますか。（1つだけ）



・経営トップは、5割が、「積極的に・時々把握している」ようにしており、運用状況や効果について関心がある。

4. その他自由意見

【問13】 その他ご意見，ご要望があれば自由に記入してください。

(製紙連合会)

- ・現在の標準は洋紙業界向けである。段ボール原紙を中心とした標準作りも必要と感じる。
- ・初期導入費用もさることながらランニングコストも高価。値下げに向けて検討されているようだが、ある程度の規模の会社でないとメリットを出しにくいと感じられる。大手を対象に普及してきたが、今後一層の普及を目指すのであれば、更なるコスト削減がされないと広く普及させるには限界が有ると考える。ある程度規模の小さなユーザには安価な定額制もしくは無料にするなどの思い切った料金体系の改革が必要ではないか。

(代理店会)

- ・共有システムだけに、全てを満足とは行かないまでも「データ毎のレイアウトの見直し」「2Byte文字を扱えるように」「P-EDI, 紙^h流通 VAN システムのエラーチェック機能強化」を望みたい。

(日紙商)

- ・納品書にバーコードをつけて欲しい。
- ・コストに見合う効果が出せていない。よりローコスト化を望みます。
- ・メーカー・代理店・卸商・印刷会社迄一本化できる、EDIの構築を目指してもらいたい。
- ・将来的に考慮してEDIの導入は必要と思われるが、代理店・得意先のシステムの構築があまり進んでいない現状では、推進は難しい。業界全体で、説明会を開催する等、前向きな取組が必要と思われる。
- ・永年の商習慣の中で、標準化していくのは難しいと感じます。
- ・メーカー・代理店・卸商がもっとEDIについて真剣に考えることが必要。

以上